



## 政経懇談会を開催

去る二月九日、盛岡市内のホテルにおいて令和初となる自民党岩手県連「政経懇談会」を開催しました。

党本部からは重要ポストである党四役の岸田文雄政務調査会長と鈴木俊一総務会長にご臨席を頂き、各市町村長、各級議員、団体、企業、各支部などから多くのご参加を頂き盛会裏に開催されました。

藤原崇県連会長は、「衆議院の任期は二年を切り、いよいよ政治決戦も近づいてきた、地域のため、岩手のために県連一丸となって精進していく」と挨拶。鈴木総務会長は、「東日本大震災や昨年の台風第十九号災害の予算措置に触れ、またI-LC（国際リニアコライダー）の誘致については「国際社会へ日本が前向きなメッセージを発することが必要、復興の先の新しい岩手・東北をつくる切り札がI-LCであるとの共通の思いを実現していきたい」と挨拶されました。

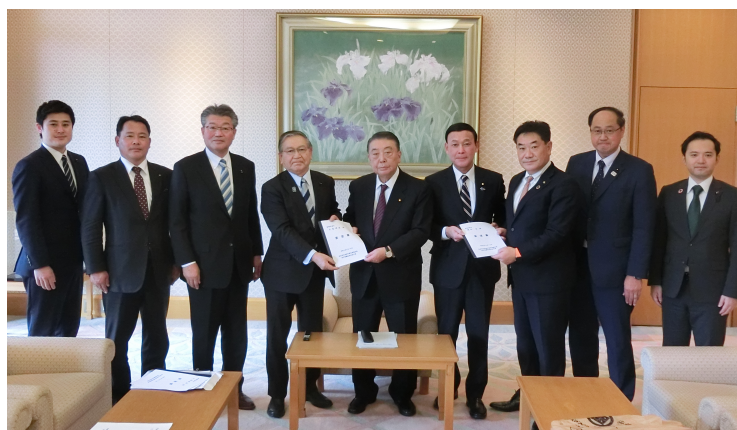


挨拶をする岸田政務調査会長

岸田政務調査会長は、「復興五輪に位置付けられている東京オリンピック・パラリンピックを成功させることによって岩手・東北の活力を世界に示していきたい」、東日本大震災からの復興については「復興創生期間も来年で十年の節目を迎える。自民党としても政府と一緒に東北の復興の仕上げのため努力を続けていきたい」と力強い言葉をいただきました。

ご来賓を代表し、小原紀彰県医師会会長の音頭で乾杯。乾杯後の懇談では、岸田政務調査会長が全テーブルを回りご参加の方々と名刺交換や写真撮影など、和やかな雰囲気、有意義な懇談会となりました。あらためてご参加の皆様には感謝申し上げます。

## 大島衆議院議長にI-LC誘致実現を要望



要望書を受け取る大島理森衆議院議長

二月十九日、自民党岩手県連、岩手県議会自民党会派として、大島衆議院議長へI-LC誘致実現を要望いたしました。

大島議長からは国際間の調整が非常に重要であること、同じ東北の仲間としてともに頑張りたいと力強い言葉をいただきました。

I-LC（国際リニアコライダー）の日本誘致は、我が国が標榜する科学技術創造立国と科学外交の実現、高度な技術力に基づくものづくりの競争力強化、さらには人づくり革命を促し、我が国の成長戦略に貢献する極めて重要な計画です。

また、I-LC実現による波及効果は、日本全国、世界に及びことになり、特に、建設候補地である東北では、I-LCの建設、運用を通じて、国際的なインバウンド拠点の形成等が進むことが期待されます。これにより、世界に開かれた地方創生が図られるとともに、東日本大震災からの復興、ひいては日本の成長にも貢献できるものと確信しております。

国際将来加速器委員会は、二月二十一日にSLAC国立加速器研究所で会議を開催しました。その会議で、文部科学省研究振興局審議官の増子宏氏は政府見解として「国際的な費用負担など課題の解決が必要だ」とした上で「関心を持って米欧との意見交換を実施する」と表明しております。

今後とも自民党岩手県連といたしましては、国内外の情勢を注視しながら、誘致実現に向けて最大限の努力を続けてまいります。